

堂々とみんなに見せられる行動を心がける。
 良くも悪くも見られる仕事。



楠 友典さん(1994年生まれ)

豊橋南高校 出身
 愛知学院大学 法学部卒業

愛知県警察 安城警察署

安城市横山町下毛賀知117
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校へ入学→各警察署に配属

— 学生時代

「高校時代は、サッカー部に所属していました。部活動を通して、仲間との連携を学び、コミュニケーション能力を高めることができたと思います。この頃から、漠然と『警察官になる』というビジョンがあり、『警察官を目指すなら法学部がいい』という担任の先生からのすすめで、愛知学院大学法学部に進学しました。」
大学時代について教えてください。
 「大学での勉強は、とにかく法律漬けでした。中でも刑法や刑事訴訟法は、警察の仕事に直接関わるものなので大学での学びが現在に活かされていると感じます。また、自分と同じく警察官を目指す友人がいたので、一緒に勉強することでモチベーションアップにもつながりました。試験対策として活用したのは、大学の公務員講座で、教養試験や面接の対策してもらい、とても役立ちました。勉強以外では、友人とフットサルをするなどして体力作りにも励みました。」

— 仕事について

「採用試験に合格後は、警察学校に入校しました。6か月の寮生活では、法律などの知識を学ぶのももちろんですが、忍耐力など精神的な面がとても鍛えられたように思います。朝起きてから寝るまでの生活すべてが訓練なので、良い意味で『常に見られている』という意識がつきました。特に印象に残っているのは、競争訓練です。朝から夕方までひたすら山道を歩く訓練
仕事内容を教えてください。
 「警察学校を卒業後、最初の2年間は交番で勤務しました。交番勤務は、警察の仕事の最も基礎的なことを学ぶ勉強になる期間です。現場によって対応が異なるなど、最初は覚えることが多く大変でしたが、困ったときは先輩や同期の助けにより乗り越えることができました。現在は、パトカーの乗務員として勤務しています。パトロールや犯罪の取締等の活動を通して地域住民の安全意識の向上や犯罪の抑止につながっています。私たち警察官は、車の運転や交通ルールの遵守など一つ一つの行動が市民の手本となるよう、常に心がけて仕事に取り組んでいます。」

— やりがい

「職務質問をした相手が法に触れるものを所持していたなど、自らの声かけがきっかけとなって逮捕につながったときはとても達成感があります。また、一つ一つは小さい事案でも、それを積み重ねていくことで未然に事件や事故を防ぐことにつながります。今後も市民の安心・安全な生活のために日々の公務に当たっていきます。」
— なるためには
 「まずは警察官採用試験に合格することです。試験合格後は、大卒は6か月、高卒は10か月警察学校で訓練を受けます。学生の間は何か目標をもって取り組めるものを見つけて、それに向かって頑張ってほしいです。ボランテニア、部活、アルバイトなど何でも良いです。何かに真剣に取り組んだ経験は、後にきつとプラスになりますよ!」
ありがとうございます。



自分探検

18歳 サッカー部に所属。高校卒業後、愛知学院大学法学部へ入学。

23歳 警察学校では忍耐力が鍛えられ、精神的に成長。

27歳 人々の手本となる行動を心がけ、県民のみならず、日々の仕事に組み込む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

